

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
23	福永 意人（1）	<p>1. 高齢者ケア等の観点からの世代間交流事業等の促進について</p> <p>近年、家族形態やライフスタイルの多様化、新型コロナウイルスの影響により、地域のつながりの希薄化が一層顕著になった。また、単身世帯の増加、特に高齢者の独り暮らしは全国的に増加傾向にある。国立社会保障・人口問題研究所が発表した将来推計によると、2050年には65歳以上の独り暮らしが2020年比で47%増加し、1083万人になると予測されており、いかにして社会的孤立を防ぐかが大きな課題となっている。本市においても、在宅高齢者の世帯数や独り暮らし数が右肩上がりの状況であることから、交流の場をつくとともに社会参加を促すことが求められており、世代間交流はその方策の一つである。世代間交流は、高齢者の生きがいや健康増進を高めるだけでなく、世代を超えた相互理解につながり、地域全体に支え合いの意識を育む効果がある。暮らしやすい地域の構築を目指し、以下3点質問する。</p> <p>(1) 独り暮らし高齢者の孤立を防止するためにどのような対策をしてきたか。</p> <p>(2) これまでどのような世代間交流事業を支援・実施してきたか。</p> <p>(3) 教育機関等と連携して世代間交流事業を促進してはどうか。</p>	市長 及び 担当部長